

令和8年度 道徳教育 全体計画

学校番号	52	岡谷南 高等学校	全 課程	普通 科
------	----	----------	------	------

学校教育目標
1. 常に進歩のため問題をもってことにつく 2. 常に成功の可能性を確信してことに当たる 3. 常に協調融和の精神をもってことを行う
重点目標
1. いじめ・体罰の根絶と、安心・安全の学校づくり 2. 個に応じた進路指導と生徒の進路実現及び学習集団づくり 3. ICT機器の利活用の研究と推進による学びの充実 4. 自主的に活動できる態度の育成

道徳教育の重点目標
1. 規律ある学校生活を通して、自らを律して行動する力や規範意識・公共心を育む。 2. 自他の尊重と協力を重んじ、生命及び人権を貴ぶ心と態度を養う。 3. 自己の在り方、生き方を深く考え、主体的に社会に参画し、その発展に寄与しようとする態度を育む。



学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
					国語	地理歴史
1年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を確立し、規律とけじめのある学校生活を送る。 自己及び他者の個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動する態度を養う。 	自己理解を深め、身につけたい専門性や将来の職業について展望する。 ○文理選択 ○社会人講話 ○一日大学 ○大学見学会 ○工業メッセ見学、事前学習、振り返りを通しての職業に関する意識付け	<ul style="list-style-type: none"> ルールやマナーを大切にする意識と態度を身につける。 互いを認め合い、他者と協力して活動する力を身につける。 交通安全教室 SNS利用法 人権学習 他 	仲間と協力し合う活動の中で、良好な人間関係の形成に努めるとともに、自ら進んで行動する態度を身につける。 ○文化祭 ○委員会活動	国語 ことばの力を獲得することを通して、思考力・コミュニケーション能力を養うとともに、ものの見方・考え方を確立する。	地理歴史 我が国および世界の人の生活や歴史についての理解を深め、平和的で民主的な社会を形成する一員としての自覚と資質を養う。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 規律ある学校生活を通して、自らを律して行動する力を育む。 生活、仕事上の多様な役割及びその関連を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深める。 	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な目標を立て、体験活動、探究活動に取り組む。 ○進路研究 ○一日大学 ○科目選択 ○キャンパス見学 ○職業体験 ○課題探究	よりよい人間関係を形成に努め、集団の一員として協働して活動する力を身につける。 ○人権学習 ○修学旅行事前学習 他 ○防災学習による人権学習	上級生としてより自律的な行動に努め、目標の実現に向けて他者と協力して取り組む力を身につける。 ○文化祭 ○委員会活動 ○生徒会の運営	数学 数学的な見方・考え方を働かせ、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を養う。	理科 自然の事物・現象を探究する活動を通して、科学的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
3年	自己の在り方、生き方とともに、社会の諸課題に対しても目を向け、よりよい集団、社会を築こうとする自主的、実践的な態度を養う。	自己の在り方、生き方について深く考えとともに、自らの進路実現に向けて長期計画を立て着実に実行する。 ○進路研究 ○職業体験 ○課題探究	よりよい人間関係を維持し、集団の一員として責任をもって諸課題の解決に取り組もうとする態度を身につける。 ○人権学習	最上級生として率先して望ましい人間関係の形成に努め、協力して諸課題を解決しようとする態度を身につける。 ○文化祭の運営 ○生徒会の運営 ○委員会活動	公民 国際的視野に立って社会を考察し、人間の生き方についての自覚を育て、平和的で民主的な社会を形成するために必要な資質を養う。	公民 国際的視野に立って社会を考察し、人間の生き方についての自覚を育て、平和的で民主的な社会を形成するために必要な資質を養う。
					保健体育 心身の健康を保持・増進するとともに、公正・協力・責任等に対する意識を育てる。	芸術 豊かな情操を養い、美しいものに感動する心を育むとともに、創造することの喜びを体得させる。
					外国語 外国の言語や文化に対する理解を通してその違いを受容する心を養い、国際感覚を育む。	家庭 人間の発達と生活の営みを総合的にとらえ、協力して家庭や地域の生活を創造する態度と実践力を育てる。
					情報 情報及び情報技術を活用するための知識や技術を習得し、情報社会における情報の意義やモラルを理解させる。	総合的な探究の時間 自己の在り方、生き方とともに、社会の諸課題にも目を向け、よりよい社会を築こうとする態度を養う。



家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> PTA総会、学年PTA、学級PTA、保護者懇談会等を通して家庭との連携を図り、本校の教育活動に対する理解と協力を得る。 保護者アンケート等を通して保護者からの要望、意見を聞き、教育活動の改善を図る。 地域社会との連携活動やボランティア活動等を通して公共の精神を養うとともに、地域社会の振興・発展に寄与しようとする態度を育てる。
------------------	---